



神を仰ぎ 人に仕う

Chapel News

2022年6月3日(金)

No.3

死んでも語る人ーアベルー

「アベルは死にましたが、信仰によってまだ語っています」(ヘブライ人への手紙 11:4)。

聖書は信仰によって生きる人の幸いを語ります。それは、信仰によって地上を旅する人の幸いであり、死んでも語る人の幸いです。そして、聖書はこの幸いに生きることを私たちに強く呼びかけます。

信仰によって生きた人として、ヘブライ人への手紙が最初に取り上げるのは、アベルという人です。彼は、エデンの園を追われたアダムとエバ夫婦の次男でした。不思議なことに、聖書にはこのアベルの語った言葉は何も残されていません。それなのに、この人が「信仰によって正しい者であると証明された」最初の人物として記録され、「信仰によってまだ語って」と記されているのです。

アベルとはどんな人だったのでしょうか。その詳細は分かりませんが、少なくとも彼の地上の歩みの最後は悲惨なものでした。彼は実の兄カインに殺されてしまったのです(創世記 4:8)。しかし、ヘブライ人への手紙は、アベルのこの悲惨な死よりはもっと別のところに注目します。それは信仰によって生きたアベルの生き方であり、またその生き方ゆえに「正しい者」とされた幸いです。

アベルは、「死んでもまだ語っている」と証言されています。死んでも語るとはどういうことでしょうか。一つには、信仰によって生きた彼の生き死にを通して、またそれを伝える聖書の言葉を通して、そしてそれを信じる人々の言葉と生き方を通して、今も語り続けているということでありましょう。信仰によって生きる人の幸いがここにあります。それは、死んでもまだ語り続ける幸いであり、それを聞いて生きる人々がいる幸いです。たとえこの世に言葉を残すことはないとしても、信仰によって生きる人は、死んでもまだ語ります。その人の生き方を伝える言葉を通して語り続けるのです。

政治経済学部チャプレン ナグネ 洛雲海

2022年度 年間聖句

主は人の一歩一歩を定め 御旨にかなう道を備えてくださる。

(詩編 37 編 23 節)

6月 月間聖句

わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってくださいます。(ヨハネの手紙ー 4 章 16 節)

2022年度春学期全学礼拝 4月12日(火)~7月22日(金)

全学礼拝は火曜日~金曜日です。春学期の月に1度のチャペルでの対面礼拝週間は14時40分~15時10分で行われます。それ以外は、昨年度に引き続きキリスト教センターホームページでのオンライン礼拝配信となります。

聖学院教会祈祷会

毎週木曜日 18時40分~19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。どなたでも自由にご参加ください。

主の祈り

天にましますわれらの父よ
ねがわくはみ名をあげさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を今日も与えたまえ
我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ
我らをこころみにあわせず 悪より救い出したまえ
国とちからと栄えとは
限りなくなんじのものなればなり アーメン



6月7日(火)

—韓国語礼拝—

奨励者 鄭鎬碩
(政治経済学科教授) 日本語
訳あり

司会者 菊地 順

奏楽者 渡辺 善忠

◆ ◆ ◆

前奏

讃美歌 “主われを愛す”(日本語)

聖書 ローマの信徒への手紙
15章 4~7節(新約P.295)

祈禱

奨励 「받아들이는 희망
(受け入れることの希望)」

祈禱

讃美歌 “主われを愛す”(韓国語)

主の祈り

後奏

6月8日(水)

—英語礼拝—

奨励者 R.ローランド
(欧米文化学科助教) 日本語
訳あり

司会者 柳田 洋夫

奏楽者 今村 優子

◆ ◆ ◆

前奏

讃美歌 324 番 1 節

聖書 ルカによる福音書
17章 11~18節(新約P.142)

祈禱

奨励 「Gratitude Attitude
:感謝で満足！」

祈禱

讃美歌 324 番 2 節

主の祈り

後奏

6月9日(木)

—ペンテコステ礼拝—

奨励者 洛雲海
(政治経済学部チャプレン)

司会者 木村 太郎

奏楽者 清水 貴子

◆ ◆ ◆

前奏

讃美歌 181 番 1 節

聖書 創世記 11章 4~7節(旧約P.14)
使徒言行録 2章 1~11節
(新約P.214)

祈禱

聖歌隊による賛美奉獻 500 番

奨励 「聖霊に満たされることを願って」

祈禱

讃美歌 181 番 5 節

主の祈り

後奏

6月10日(金)

奨励者 赤田直樹
(聖学院みどり幼稚園園長・チャプレン・聖学院教会牧師)

司会者 木村 太郎

奏楽者 ングワー路津子

◆ ◆ ◆

前奏

讃美歌 529 番 1 節

聖書 テサロニケの信徒への手紙—
5章 16~18節(新約P.379)

祈禱

奨励 「神があなたがたに
望んでおられること」

祈禱

讃美歌 529 番 2 節

主の祈り

後奏

今後の全学礼拝奨励者のご案内

全学礼拝のオンライン礼拝配信は、キリスト教センターのホームページからアクセスできます。

聖学院キリスト教センター



- 6月14日(火) 篠田真紀子先生 (日本キリスト教団浅草教会牧師)
- 6月15日(水) 小林信人先生 (日本キリスト教団高輪教会牧師)
- 6月16日(木) 吉岡光人先生 (日本キリスト教団吉祥寺教会牧師、本学講師)
- 6月17日(金) 寺嶋健一職員 (キャリア支援課)
- 6月21日(火) 久保哲哉先生 (聖学院中学校高等学校チャプレン)
- 6月22日(水) 中村謙一先生 (聖学院幼稚園・小学校チャプレン)
- 6月23日(木) 高橋恵一郎先生 (女子聖学院中学校高等学校チャプレン)
- 6月24日(金) 前川あきほ先生 (女子聖学院中学校高等学校チャプレン)
- 6月28日(火) 清水 均先生 (日本文化学科教授)
- 6月29日(水) 竹井 潔先生 (政治経済学科特任教授)
- 6月30日(木) 村上純子先生 (心理福祉学科教授)
- 7月 1日(金) 野村春文先生 (児童学科特任講師)

7月の全学礼拝(チャペルでの対面礼拝)奨励者のご案内

- 7月5日(火) 柳田洋夫先生
(人文学部チャプレン)
- 7月6日(水) 山口 博先生
(聖学院院長・キリスト教センター所長)
- 7月7日(木) 山形宣洋先生
(キリスト者学生会(KGK)関東地区主事)
- 7月8日(金) 木村太郎先生
(心理福祉学部兼人間福祉学部チャプレン)



次回のChapel News発行日は、7月1日(金)です。